



和納十五夜 傍巖寺の鐘、太鼓とを拍子立て急ぎ打つ『馬鹿拍子』の音も村内に響くこともなくなった。そして御幣を奪い合う勇ましい声、神社の森にひびく角力の応援の声……みんななくなつた。時代と共に……ただ笛と太鼓、奉供する武道の型から変化した棒遣いが私たちに昔のまつりをしのぼせる、『和納十五夜』この言葉は私達になにか華やかさを感じさせると共に淋しさをも抱かせる。

不幸な子供が生まれぬように そして健康に育つように

異常な子供が生まれないように、生まれても、早く発見して対策が立てられるように――

妊娠から就学まで、一貫した管理を行なうと、村では、母親学級、乳児検診、二才児検診と力をそそぎ懸命に活躍。

これらの対策が村民から喜ばれているが、会場がいつも本庁では、遠くてと診を受けて、心身の異常を

現在子供が、生まれて三才になると、国の三才児検

の健康管理を実施している
検診会場については、医師
の人数、診察器具等の関係
で、会場の分散は困難で、
それらをカバーするために
保健婦の家庭訪問の強化を
している。しかし将来は住
民サービスのためにも、研
究しなければならぬ。だろ
う。これらの一かんした検
診は、公民館の機関もタ
イアップして、また、未婚
の男女を対象として、啓発
運動からはじめる必要もあ
ろう。美容院、会社、工場
を通じて、婚約者を調べ、
婚約者双方に遺伝の問題、
性病の恐ろしさ血液検査の
必要性などの基礎知識のP
ることであろう。

止指導、くすりの適正使用
が指導され、妊娠して母子
健康手帳が交付されたら、
母親学級、栄養指導、妊婦
健康診断が実施される。い
健康診断が実施される。い
よ分べん出生時がくる
と、施策の重点は子供へ移
る。新生児から乳児、一
二才児、三才児、四〜六才
児の健康診断、栄養指導、
保健指導、予防接種など小
学校へ、入学するまで、一
貫した施策が推進され、こ
うして発見された、異常に
ついてはすう指導、援護さ
れなければならぬ。であろ
う。これらの対策も総合開
発委員会によって研究され



今年も昨年を上廻る豊作で農家に入る
予約奨励金は一億一千万円、農家に入る
ころは、ふくらんだ。農協の窓には、盆
が近づくにつれて、忙しなる。農協は、
農家に渡してなるものかと、貯金、貯金
と懸命。



赤ん坊のホッペのように、丸くふくら
み、甘まずっぱい香りのメロンの最盛期、
きれいに包装されたメロンが六個、一箱
に詰められ、三五〇円の高値に飛ぶよう
に売れていく。